

# 子どものいる世帯の生活状況および 保護者の就業に関する調査

The Japan Institute  
for  
Labour Policy and Training



# 子どものいる世帯の生活状況および 保護者の就業に関する調査

独立行政法人労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training



## ま え が き

子どものいる世帯の保護者は、働き盛り世代でもある。「父親が外で働き、母親が家で家事・育児をする」という性別役割分業を行う「専業主婦世帯」は、1970年代以降に一貫して減少し、代わりに母親も働く「共働き世帯」は増えている。とくに「男女雇用機会均等法」が施行された1985年以降、女性の社会進出に関するさまざまな制度が整いつつあり、子育て中の女性の就業率は上昇している。しかし、実態としては、子育てしながら働くことは、決して容易なことではない。とくにひとり親世帯の場合、家計を支える仕事と育児が、保護者一人の肩に同時にかかってくるので、多くの親は疲弊しきっている状態である。

そこで、本調査シリーズは、それぞれの世帯類型別（母子世帯、父子世帯、ふたり親世帯）に子どものいる世帯の生活状況、子育ての実情、仕事と育児との両立状況等について総合的に調べたものである。そこで見えてきたのは、専業主婦世帯の二極化、ひとり親世帯のワーク・ライフ・コンフリクトとメンタルヘルスの問題、経済格差の世代間継承等さまざまな課題である。

子育て世帯への支援は、子どもたちへの支援につながり、ひいては少子化の食い止めにもつながる。本調査シリーズは、そのきっかけづくりになると良い。

お忙しい中、本調査にご協力くださった保護者のみなさまに心より御礼を申し上げます。

本調査シリーズが、関係者の方々のお役に少しでも立てれば幸いである。

2012年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
理事長 山口 浩一郎

## 執筆担当者

氏 名  
しゅう えんぴ  
周 燕飛

所 属  
労働政策研究・研修機構副主任研究員

「子どものいる世帯調査検討会」メンバー（除く執筆者、50音順）

阿部 彩  
梅澤 眞一  
大石 亜希子  
馬 欣欣  
McKenzie, Colin  
Raymo, James

国立社会保障・人口問題研究所部長  
労働政策研究・研修機構統括研究員  
千葉大学法経学部教授  
労働政策研究・研修機構アシスタントフェロー  
慶応義塾大学経済学部教授  
ウィスコンシン大学マディソン校社会学部教授

# 目 次

|     |                              |    |
|-----|------------------------------|----|
| I   | 調査の概要                        | 1  |
| 1.  | 調査の目的                        | 1  |
| 2.  | 調査の概要                        | 1  |
| (1) | 調査方法                         | 1  |
| (2) | 調査期間                         | 1  |
| (3) | 標本設計                         | 1  |
| (4) | 回収状況                         | 1  |
| II  | 標本抽出方法の詳細                    | 2  |
| 1.  | 層化                           | 2  |
| 2.  | 標本数の配分                       | 3  |
| 3.  | 抽出                           | 3  |
| 4.  | 世帯類型が不明な調査地点について             | 3  |
| 5.  | 東日本大震災の被害地域について              | 4  |
| III | 本調査シリーズの位置づけ                 | 4  |
| IV  | 調査結果の概要                      | 5  |
| 1.  | 基本属性                         | 5  |
| (1) | 世帯人員と世帯構成                    | 5  |
| (2) | 住居の状況                        | 6  |
| (3) | 保護者の年齢、学歴と就業状況               | 6  |
| (4) | 世帯の年間所得と社会保険の加入状況            | 7  |
| (5) | 子どもの数と末子の年齢                  | 8  |
| (6) | こどものための支出                    | 9  |
| 2.  | 暮らし向き                        | 10 |
| (1) | 生活のゆとり感－5年前の状況よりも悪化          | 10 |
| (2) | 豊かさの実感－学習塾と習い事費用の負担感が強い      | 11 |
| 3.  | 子育て                          | 11 |
| (1) | 子どもと過ごす時間－父子世帯の5人に1人は1時間未満   | 11 |
| (2) | 子どもと一緒に夕食をとる回数－「孤食」児童の問題     | 12 |
| (3) | 子育ての悩み－勉強、性格やしつけの面で悩む家庭が多い   | 13 |
| (4) | 子どもの不登校－母子世帯の母親8人に1人が経験      | 14 |
| (5) | 育児の挫折－母親の8人に1人は虐待で思い悩んだことがある | 14 |
| 4.  | 仕事と家庭生活の調和                   | 15 |
| (1) | 母親の職業キャリアコース－「退職復帰型」がもっとも多い  | 15 |
| (2) | 労働時間－ひとり親は長時間労働、深夜勤務のリスク大    | 16 |
| (3) | 仕事と家庭生活－両立が難しい場合は仕事を優先する傾向も  | 17 |

|                                           |    |
|-------------------------------------------|----|
| (4) 仕事と健康－無業母子世帯の4割は健康状態が良くない             | 17 |
| (5) 仕事とメンタルヘルス－無業母子世帯の3割強はうつ傾向            | 18 |
| 5. 仕事と育児への支援                              | 19 |
| (1) 配偶者との分担割合－「夫婦が半分ずつ」は1割未満              | 19 |
| (2) 祖父母からの援助－「生活費援助」と<br>「子どもの世話援助」が多い    | 20 |
| (3) 公的援助－制度の認知に課題が残る                      | 20 |
| (4) 期待する支援－国には「保育園等の拡充」、<br>会社には「就業時間の配慮」 | 22 |
| 6. 経済格差                                   | 23 |
| (1) 相対的貧困率－所得再分配による貧困軽減は不十分な可能性も          | 23 |
| (2) ジニ係数－母子世帯内の所得格差は大きい                   | 24 |
| (3) 妻の就業と貧困－保育園の不足が貧困を引き起こす大きな理由          | 25 |
| (4) 貧困のリスク因子－低学歴、低出産年齢と離婚経験               | 26 |
| 7. 経済格差の世代間継承                             | 26 |
| (1) 成育環境と貧困－両親の生活保護歴、離婚経験は<br>強く関係する可能性   | 26 |
| (2) 貧困のリスク因子－両親の離婚は深く関わる可能性               | 27 |
| 8. 東日本大震災の被害地域の子育て世帯                      | 28 |
| (1) 暮らし向き－苦しいと感じる世帯は東北3県で大幅に増加            | 28 |
| (2) 母親の失業率－宮城県と岩手県は高め                     | 29 |
| (3) 行政、企業、社会への要望                          | 29 |
| 9. まとめ                                    | 30 |

## 付属資料

|                                           |     |
|-------------------------------------------|-----|
| 資料1 付属統計表                                 | 33  |
| 資料2 「子どものいる世帯の生活状況および<br>保護者の就業に関する調査」調査票 | 161 |